

令和6年度「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」
「たくみのわざクラブ」の実施について

特定分野に特異な才能のある児童生徒は、その認知・発達の特性等がゆえに、学習上・学校生活上の困難を抱えることがあると指摘されています。

令和5年度に引き続き、今年度も本市では、文部科学省から「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」^(※1)の委託を受け、株式会社SPACE^(※2)及び一般社団法人リリース^(※3)との連携のもと、困難を抱える不登校又は不登校傾向の児童生徒のうち、ものづくりに関心のある者を対象に、学校外で高度なものづくりの技術に触れることができる体験活動講座「たくみのわざクラブ」を実施しますので、お知らせします。

記

- 1 日 時 令和6年11月12日（火）～15日（金）午前10時～午後4時（予定）
※4日間の連続講座。3講座共通の日程のため、複数講座の選択は不可。
※各講座や実施日によって、開始・終了時刻は多少前後します。
- 2 講座内容 体験活動講座①「京藍染」（協力：京藍染師 松崎 陸 氏）
体験活動講座②「和ろうそく」（協力：中村ローソク）
体験活動講座③「陶芸」（協力：紅村窯）
- 3 参加対象 京都市立小・中・義務教育学校に在籍する小学4年生から中学3年生の不登校又は不登校傾向の児童生徒のうち、ものづくりに関心のある者
- 4 募集期間 令和6年10月8日（火）～10月31日（木）
- 5 申込方法 特設ページ（God Hands Kyoto）から直接お申込みください。
<http://kyoto.godhands.space/> 締切日：10月31日（木）
※申し込みには上記ページから新規会員登録が必要。応募多数の場合は抽選。
- 6 参加費 無料（ただし、3講座とも昼食代（実費相当）が必要です。）
※その他、各集合場所までの往復交通費が必要です。
- 7 その他 本講座では、講座の前後で参加児童生徒の気持ちの変化を把握し、その教育的効果について研究するため、保護者の同意のもと、「講座前後の児童生徒の様子を知るためのアンケートの実施」、「在籍校との情報連携」、「個人が特定されない形で児童生徒の様子を文部科学省に報告」する予定です。



- 8 連絡先 各講座や実施日によって、会場が異なりますので、取材を希望される場合は、事前に生徒指導課（電話：075-213-5622）へ御連絡ください。

※1 特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業について

○文部科学省の事業概要

特定分野に特異な才能のある児童生徒（以下「特異な才能のある児童生徒」という。）は、その才能や認知・発達の特性等がゆえに、学習上・学校生活上の困難を抱えることがあると指摘されています。しかし、これまで我が国の学校において、特異な才能のある児童生徒を念頭においた支援の取組はほとんど行われてきませんでした。

このため、本事業では、こうした児童生徒への支援方策を開発し推進するため、多様性を認め合う個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の一環として、(1)～(4)に掲げる特異な才能のある児童生徒に対する支援に関する取組を実施します。

- (1) 特異な才能のある児童生徒に関する研修パッケージの作成
- (2) 特異な才能のある児童生徒の特性を把握するツールや特異な才能のある児童生徒の支援に資するプログラム等のデータ収集・整理
- (3) 特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援に関する実証研究
- (4) 特異な才能のある児童生徒の指導・支援を行う教職員・保護者を対象とする相談支援に関する実証研究

○京都市の研究概要

市が開発したアセスメントツール（クラスマネジメントシート）を使って、特異な才能のある児童生徒が安心感や充実感をもって学校生活を送ることのできる学級風土について研究を行った令和5年度の仮説をもとに、教職員と学級風土の関わりについてより詳細な研究する。また、児童生徒が興味を示す京都ならではのものづくりに関わる体験活動講座の提供を通じて、不登校になった児童生徒がその能力を生かすことのできる居場所づくりの在り方や在籍校との連携等について研究を行うとともに、継続的な支援の実施に向けた地域主導型の運営の仕組みづくり等を研究する（上記(3)に関する取組）。

※2 株式会社 SPACE

CEO は東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員の福本理恵氏。

福本氏は、東京大学「異才発掘プロジェクト ROCKET」におけるプロジェクトリーダー、また文科省「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」の委員を務めるなど、特異な才能のある児童生徒への支援に造詣が深い。

※3 一般社団法人リリース

ビジネスプロデュースを行う法人。本市の SDGs 探究学習プロジェクト「Q 都スタディトリップ」にも参画。